3/25(土)雨のち雪のち曇

集合場所のJR西千葉駅18:30頃に岩・手塚・山村と集まり、岩車のリベロで出発した。岩宅に立ち寄った後、19時半ころ最寄りのICから高速道路に乗ったが、雨のためか1時間ほど渋滞につかまり、西那須塩原ICを降りたのは22時半頃だった。尾頭峠でチェーンをつけ、JR叶津駅に着いたのは夜中の1時頃だった。駅構内で仮眠しようと思ったが、残念ながらカギがしまっていて入れなかった。小さな駅で人や車が通るわけではないが、駅前の駐車場は電灯で明るくて、テント泊するにはいまいち落ち着かない。みな各自のテルモスを自動販売機のホットドリンクで充填して、駅をあとにした。

結局、入叶津の登山口に着いたのは夜の1時半頃となった。このあたりの道路脇の積雪は1m強で、除雪の終点は民家の50mほど先であった。この終点に駐車して、2人は車中泊、1人はテント泊した。

3/26(日)曇ときどき晴

昨日の渋滞がたたってか、1時間ほど寝坊してしまった。シールをつけ、川沿いの林道（行き止まりの国道289）を歩きはじめた。地形図では道路になっているが、いきなり山から土砂が崩れているところがあり、車は事実上は通れないと思われた。

林道の電柱は所々で途切れて電線が地中に潜ったりしたが、ようやくコースガイドで目印となっている87番の電柱に着いた。地形図でいうと林道が消滅する前に最後に右に曲がっているところであった。とりあえずここから真西に登り、南方の平岩岳へ登る尾根を通り過ぎて、しばらく幅50～100mの広い平らなところを登っていく。標高600m、640m、670m、710mで段々と平らになっているので、なんとなく現在位置がわかる。

途中で小三本沢を渡るのに、ガイドには「スノーブリッジを渡る」と不安な感じであったが、水流が見えるところは沢の1割もなく、ほとんどのところで渡るのに充分な雪量があった。結局、地形図上の登山道より200mほど過ぎたあたりで、小三本沢の右側（左岸）に渡った。左岸を登り切って、地形図上の765m地点の平らなところに来ると、30mのプールくらいの大きさの池が1つ、近くに見えた。

まもなく、核心部と言われる安沢に近づいてきた。安沢の左斜面（右岸）の稜線の近くに所々大きなヒビが見える。安沢の出合い付近には左斜面から長さ50m幅30mの雪崩れたあとがあって、その上に20cmほど雪が積もっていた。これと同じ程度の雪崩なら完全に埋まることはなさそうだが、安沢の両岸の斜度は30～40°あり、威圧感を受けながら、ひたすら沢の最低部を直登していった。コースガイドでは沢の途中の右岸（左斜面）を登っていって稜線に出ると書いてあったが、岩CLの指示により、わかりやすく沢の上まで登り詰めることにする。途中2度ほど沢は枝別れし、どちらも左方向に進んだ。

安沢の最後の急斜をジグザグで登り切り、両岸の圧迫から解放されて見晴らしのきいた平らな稜線に出た。稜線と思っていたところは、地形図のとおりに平らな浅草岳の北面のはじまりであった。北面は斜度は10～15°とゆるく、樹林の間隔が広がっていた。ハードな人にはものたりないかもしれないが、どこでも安心して滑べれるという感じの斜面で、穏やかな光景だ。カメラがないのが残念だ。

とりあえず今見えている300m先を目指して登る。その300m先に着く前に、また300m先が見えはじめる。頂上はまだ遠いことを実感した。頂上までは標高差で300m、つまり登り1時間ほどを残し、時間切れで引き返すことにする。

30分ほど休憩した後、滑り出した。このゆるい北面はよく滑べる軽い雪で、とてもよかった。やや急な安沢の下りも雪が硬くないので不安を感じない。安沢の出合いまではすぐだった。小三本沢をわたって右岸に戻るのにシールをつけた。しばらくは下りと平らの繰り返しだったため、シールは、平岩岳の尾根のところ（標高600m）までつけることにした。最後まで往路のトレースがはっきりついていたので迷うことはなかった。

平岩岳への尾根のところからは、岩CLが往路のトレースを途中ショートカットし、こういう即断的なルートファインディングに感心しながら、あっという間に87番めの電柱のところに滑べり出た。あとは平らな林道（平均斜度2°）をシールなしで滑べったり漕いだりして車のところに戻った。

今日のコースガイドは「日本スキーツアー」（北田紘一編、山と渓谷社、2500円）の「叶津～浅草岳」（p.98～99）で、所要時間は登り5時間、下り2時間とあるが、次に来る時は登り7時間、下り3時間は欲しいと思った。

【タイム】入叶津（シールつける）8:20→No.87の電柱9:15～:30→小三本沢10:50→安沢出合い11:50→稜線13:00→引き返し地点（標高1300m、シールはずす）13:50～14:25→安沢出合い14:50→小三本沢（シールつける）15:05→シールはずす16:05～:25→No.87の電柱16:35→入叶津17:10。